

みなとからの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1 / TEL 045-628-6100(代)

<http://www.yokohama.jrc.or.jp/>

●発行：2010年9月 地域医療連携室

Contents

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ■ 院長就任のご挨拶 …………… 1 | ■ 新任医師のご紹介 …………… 4 |
| ■ 神経内科のご案内 …………… 2 | ■ みなとセミナー・研究会のご案内 … 4 |
| ■ 整形外科のご紹介 …………… 3 | |

就任のご挨拶

この度、7月1日付で横浜市立みなと赤十字病院に赴任いたしました四宮謙一です。どうかよろしくお願い申し上げます。東京医科歯科大学では、整形外科分野教授、医学科長、病院長補佐を行っておりました。5月末には日本整形外科学会学術総会を東京国際フォーラムで主催し、一万を超える参加者を迎えて、わずかながらも日本の運動器医療に貢献できたと考えています。

さて就任を依頼されたときに、赤十字病院であるのに横浜市立とは、と疑問に思いましたが、横浜市が建設した新病院の指定管理者が日本赤十字社であることで納得しました。当院は横浜市の臨港地区に位置し、付近は山手や本牧の住宅街、そしてベイブリッジ、山下公園、元町中華街など日本でも有数の観光地に恵まれており、さらに最初に訪問した時には病院の威容に驚かされました。

本院は開院当初から急性期医療を担う病院として、高度な総合医療施設に位置付けられましたが、2006年にはDPC対象病院となり、2007年には病院機能評価を取得、精神科病棟開棟、2009年には地域医療支援病院、救命救急センターの指定を受けますます発展しています。現在では23診療科を有する634床の拠点病院となり、その主な医療内容も、政策医療としては24時間365日の救急医療、小児・周産期・精神科救急医療、緩和ケア医療、アレルギー疾患医療など、その一方で先進的な総合医療としては救命救急医療、内視鏡やカテーテル検査・治療、癌などの

悪性腫瘍医療、骨・運動器疾患医療などがあげられます。

また地域医療の崩壊が懸念される現在、530以上の医療機関との密接な連携を行い、住民の皆様のために安心して安全な医療



院長 四宮 謙一

を達成するべく地域中核病院としての役割を果たすとともに、赤十字の使命である災害時医療拠点病院としての活動も活発に行っています。医療従事者の質が医療の質を支えると考えますので、常に新たな知識・技量を習得できるように、より一層研修体制を整備したいと考えています。

私自身は新米院長のため、病院のシステムと機能、医療の質などの把握に精いっぱい現状ですが、本来の脊椎脊髄外科医としての仕事にも未練を残していません。「今は我慢」と考えていますが、「まずは横浜市立みなと赤十字病院が一番」の生活をしていきたいと考えています。これからも引き続きご支援・ご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。簡単ではございますが、院長就任のあいさつとさせていただきます。

神経内科部長 田中 宏明



神経内科ものわすれ外来スタッフ
(右から日誌医長・田中部長)

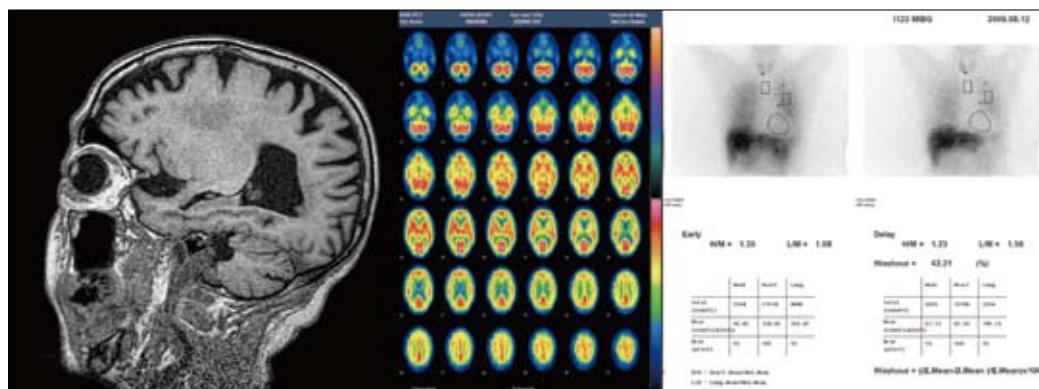
みなと赤十字病院神経内科では開設以来、積極的に「ものわすれ」、認知症の診療を行ってまいりましたが、これまで特に「ものわすれ」に特化した外来は設けておりませんでした。その間にも数多くの認知症患者さんの生活がより良いものになるようにお手伝いできたものと自負しておりますが、この度改めて「ものわすれ外来」の枠を設けて初診患者さんへの対応を行うことといたしましたのでお知らせ申し上げます。当科の「ものわすれ外来」は月曜日と木曜日に各1枠開設し、田中部長と日誌医長の2名がそれぞれ担当いたします。対象となるのは地域の先生方からご紹介いただいた患者さん、および患者さんやご家族からの直接のお申し込みです。地域連携室、コールセンターおよび当科外来にてお申し込みいただけます。

ここで気になるのが従来より開設されている当院精神科ものわすれ外来との関係ですが、これについては特に心配はなく、以前「みなとセミナー」でもご案内いたしましたように、これまで両科は連携して診療を行っており、初診時の対応でより適切と思われる場合は、それぞれの科をご紹介ないし併診依頼しております。具体的には、歩行障害や振戦などの神経症状を伴う場合や身体疾患との関連が考慮される場合は神経内科が、抑うつ、興奮・不穏、妄想などが著しい場合は精神科がそれぞれ適切と思われるが、幻

視などレビー小体型認知症に典型的な症状やアルツハイマー型認知症でも一般的なもの盗られ妄想などは神経内科でも問題なく診療いたしております。特にどちらかの科を指定される場合以外は両科で順次平行して受付いたしますので、患者さんをご紹介いただければ幸いです。

診療の流れとしては、初診時に詳しくお話をうかがい、身体的および神経学的診察、医師による神経心理学的スクリーニングを行います。次いで採血、頭部MRI、脳血流シンチグラフィ、臨床心理士による神経心理学的検査、場合により脳波、髄液検査、レビー小体型認知症の診断に有用なMIBG心筋シンチグラフィなどを積極的に施行して精度の高い診断に努めております。脳血管性認知症あるいはその合併が疑われる場合には、動脈硬化危険因子の評価、頸動脈エコー検査など脳血管系の問題も十分に考慮できるのは神経内科ならではの特色と思われます。このようにして診断を行った後は、十分なご説明を行い、アリセプトを始めとする薬物療法を導入いたします。その後の診療とケアについては、症状、ご本人・ご家族のご希望やご紹介元の先生のご意向もふまえて、当院での診療、かかりつけ医の先生への引き継ぎ、あるいは両者の併診などを適宜選択してまいりますので、ご紹介時にご意向をお伝えいただければ幸いです。

高齢化とともに認知症の患者さんはますます増加をつづけている一方、診断、治療、ケアについても多くの進歩が見られており、早期からの適切な対応により患者さんにご家族のQOLは大きく改善できます。どうかこれからも、みなと赤十字病院「ものわすれ外来」をよろしく願い申し上げます。



頭部MRI、脳血流シンチグラフィ、MIBG心筋シンチグラフィ

Topics 整形外科は脊椎・脊髄外科、手の外科、関節外科の専門医がそろっています

整形外科部長 北原 建彰

整形外科は骨折、スポーツ傷害などの外傷性疾患とともに脊椎や関節の変性疾患を扱う脊椎・脊髄外科、手の外科、肩・股・膝関節外科の専門医がそろっており、あらゆる整形外科疾患に対応できる体制となっています。スタッフは7名で、平成21年度の手術件数は960件、脊椎・脊髄が264件、上肢が262件、下肢が434件でした。平成22年7月に東京医科歯科大学整形外科教授の四宮謙一先生が当院の院長に就任しました。

★**脊椎・脊髄外科**：学会認定の脊椎脊髄外科指導医が3名います。四肢しびれや麻痺を生じる頸椎症性脊髄症や後縦靭帯骨化症に対しては、病態に応じて前方法と後方法を使い分け手術をしています。腰椎椎間板ヘルニアには、全例に低侵襲手術である内視鏡下後方ヘルニア摘出術（MED）を行っており、皮切は2cmで、術後平均5日で退院しています。腰部脊柱管狭窄症には両側の傍脊柱筋を剥離しないで、片側のみを展開する片側進入両側除圧術を行っており、1椎間は内視鏡で、2椎間以上は顕微鏡を用いて対側の神経除圧を行っています。腰椎すべり症のように固定が必要な疾患には、2cm以下の皮切で経



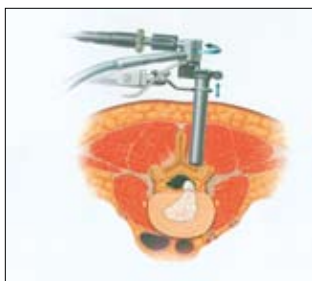
後列左：中村医師・中川医師・三宅医師・植木研修医
前列左：小森部長(副院長)・北原部長・浅野副部長・品田副部長

皮的に椎弓根にスクリューを入れて固定する最新の術式を行っています。高齢者の骨粗鬆症性胸腰椎圧迫骨折には、経皮的に人工骨や骨セメントを椎体の中に充填する椎体形成術を行っており、術後早期から痛みの軽減が得られています。これらの手術は、従来法と比べて傍脊柱筋に対する侵襲が少ないので、早期離床、退院、社会復帰が可能となりました。

★**手・上肢外科**：地域連携を強化し、上肢外傷(骨折、腱損傷、血管神経損傷)を中心に、肘部管症候群及び手根管症候群の治療に積極的に取り組んでいます。肘部管症候群に対して尺骨神経前方皮下移行術を行っています。手根管症候群は日帰り手術が可能です。上腕骨折には髓内釘或いはロッキングプレートを使用する手術を、橈骨遠位端骨折にはロッキングプレートを使用する手術を行い、早期社会復帰が可能です。

★**股関節外科**：変形性股関節症に対しては人工関節置換術を行っており、術後4週間で杖歩行で退院します。大腿骨頸部骨折に対しては骨折の形に応じた適切な手術法を選択して行っており、手術後は地域連携パスを活用しています。

★**膝関節外科**：変形性膝関節症には病状に応じて、人工関節置換術、骨切り術を行っています。人工関節置換術では、リハビリが早期に進むように、筋肉を全く切らない方法で手術を行っており、術後4週間で杖歩行で退院します。高位脛骨骨切り術は比較的年齢の若い患者さんに行っており、強固に固定するため、翌日より膝を動かすことが可能で、術後2週間で松葉杖歩行で退院します。半月板損傷に対しては、鏡視下手術を行っており、術後2日で独歩で退院しています。



腰椎椎間板ヘルニアには2cmの皮切で内視鏡下でヘルニアを摘出しています。



腰椎破裂骨折に対し、経皮的に椎体を形成し、経皮的に椎弓根スクリュー固定を行っています。

新任医師のご紹介

新しく就任した医師をご紹介します。今後地域の先生方と地域医療の連携を推進していきたいと存じますのでどうぞよろしくお願いいたします。

*** 質問項目 ***

- ①診療科(専門領域)
- ②取得認定医
- ③卒業大学
- ④卒業年度
- ⑤趣味
- ⑥地域の先生方へ一言!

ヨシオカコウタロウ
吉岡耕太郎



- ①神経内科
- ③東京医科歯科大学
- ④平成18年
- ⑤テニス
- ⑥「一緒に住みやすい横浜にできるよう努力してまいります!」

オオサワ ユキコ
大澤由記子



- ①小児科(神経)
- ②小児科専門医、小児神経専門医、日本臨床神経生理学会認定医
- ③東京医科歯科大学大学院
- ④平成2年(大学)
- ⑤旅行
- ⑥「よろしくお願いいたします。」

シンドウ シュンスケ
進藤 俊介



- ①心臓血管外科
- ③金沢大学
- ④平成18年
- ⑤サッカー
- ⑥「微力ながら精一杯努力いたしますので、今後ともよろしくお願い致します。」

タキサワ アキトシ
滝沢 明利



- ①泌尿器科(泌尿器癌・尿失禁)
- ②日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、がん治療認定医
- ③自治医科大学
- ④平成8年
- ⑥「誠意を持って対応します。よろしくお願いいたします。」

ナムラ カスヒロ
南村 和宏



- ①泌尿器科
- ③奈良県立医科大学
- ④平成19年
- ⑤旅行、スポーツ
- ⑥「これから1年間お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。」

みなとセミナー・研究会のご案内

第82回みなとセミナー 感染講演会

日時：10月14日(木) 19:00~20:30
会場：みなと赤十字病院 3階大会議室
※別途ご案内予定

第83回みなとセミナー より良い在宅療養支援を目指してPart.3

日時：10月21日(木) 18:30~20:00
会場：みなと赤十字病院 3階大会議室
テーマ：詳しく知りたい『要介護高齢者の療養場所と医療』

第84回みなとセミナー 第5回緩和ケア講演会

日時：11月5日(金) 18:30~20:00
会場：みなと赤十字病院 3階大会議室
テーマ：せん妄患者のケア

第15回 4区(中区・磯子区・南区・西区)医師会・みなと赤十字病院合同研究会

日時：11月17日(水) 19:00~20:30
会場：みなと赤十字病院 3階大会議室

紹介患者さんのお問い合わせご予約は地域医療連携課

電話 045-628-6365 (直通) / FAX 045-628-6367 (直通FAX)
E-mail: minato-renkei@yokohama.jrc.or.jp